

平成 2 7 年度事業報告書

自 平成 2 7 年 4 月 1 日
至 平成 2 8 年 3 月 3 1 日

1. 会 員 数

平成27年度期首会員数	平成28年度期首会員数	期中異動
406名	468名	62名

2. 実施事業

(1) 行 事

1) 会員例会

委員長 岸野 吉晃
副委員長 平林 佳郎
市原 好二

開催日等	テーマ	講 師
4月例会 〈H27.4.20〉	「21世紀をより良く生きる」	法相宗管長・薬師寺管主 山田 法胤 氏
岐 阜 県 サ ミ ッ ト 〈H27.5.15〉	ーサミット記念講演会ー 「アベノミクスの光と影」	慶應義塾大学商学部教授 深尾 光洋 氏
	ー岐阜県サミットー	<ゲスト> 岐阜県副知事 藤野 琢巳 氏 岐阜県議会議長 足立 勝利 氏
6月例会 〈H27.6.10〉	『自分』の壁 ～『自分探し』なんてムダなこと！～	東京大学名誉教授 養老 孟司 氏
7月例会 〈H27.7.16〉	「報道から見た日本」	元読売テレビ解説委員長 大阪総合研究所代表 辛坊 治郎 氏
設立30周年 記念講演会 〈H27.8.21〉	「地方創生は『独立自尊』の精神から」	内閣府特命担当大臣 石破 茂 氏
9月例会 〈H27.9.28〉	「世界経済と日本の良き点」	駐日オマリノ共和国特命全権大使 駐日外交団長 マンリオ・カデロ 氏
10月例会 〈H27.10.30〉	「社長の心得 ～経営者が身につけるべき経営の 原理原則～」	経営コンサルタント 小宮 一慶 氏

11 月 例会 〈H27. 11. 25〉	「消費税を考える」	Office「W・I・S・H」代表 大阪経済大学経営学部客員教授 岩本 沙弓 氏
12 月 例会 〈H27. 12. 16〉	「日本はなぜ 世界でいちばん人気があるのか」	作 家 竹田 恒泰 氏
1 月 例会 〈H28. 1. 28〉	「2016 年の日本経済・金融市場展望」	大和総研執行役員調査本部副本部長 チーフエコノミスト 熊谷 亮丸 氏
2 月 例会 〈H28. 2. 24〉	「通常国会と参院選の展望」	ジャーナリスト 後藤 謙次 氏
3 月 例会 〈H28. 3. 15〉	「職場を活性化させる コミュニケーション力」	明治大学教授 齋藤 孝 氏

2) 産学官懇談会

委員長 河合 進一
副委員長 堀 富士夫
並木 祐之

開催日等	テーマ	講師等
講演会 〈H27. 7. 28〉	「中部地域の産業の課題と展望」	中部経済産業局局長 井内 撰男 氏
視 察 〈H27. 10. 28〉	「企業視察：とよたエコフルタウン」 (愛知県豊田市)	スマートハウスの見学や、超小型電気自動車(コムス)の試乗体験など豊田市の環境の取り組みを視察。
講演会 〈H27. 12. 8〉	「生産性革新のすすめ」	中部経済同友会代表幹事 (株)ジェイテクト取締役会長 新美 篤志 氏
講演会 〈H28. 2. 2〉	「がんにならないための日常生活」	岐阜大学学長 森脇 久隆 氏

3) 幹事会

開催日	内 容	ゲスト
<H27. 9. 3>	最近の金融経済情勢と展望	日本銀行名古屋支店長 梅森 徹 氏
<H28. 2. 29>	古田知事との意見交換会	岐阜県知事 古田 肇 氏

4) 地域懇談会

① 飛騨地域懇談会

開催日	平成28年3月8日
テーマ	「最近の金融経済情勢について」
講 師	(株)十六総合研究所主席研究員 奥田 真之 氏
参加者	8名

② 東濃地域懇談会

開催日	平成28年2月19日
テーマ	「成功の哲学～成功する物の見方と考え方」
講 師	天台宗僧侶 藤井 妙法 氏
参加者	64名

③ 中濃地域懇談会

開催日	平成28年2月18日
テーマ	「最近の金融経済情勢について」
講 師	(株)十六総合研究所主席研究員 奥田 真之 氏
参加者	23名

(2) フォーラム事業

1) 企業経営フォーラム

委員長 柳原 幸一
副委員長 杉山 文康
森田 槇子

目的	変化の激しい時代のなかで、企業経営は柔軟かつスピーディな対応を余儀なくされているため、企業経営の最新トレンドや直面する様々な課題について理解を深めるとともに意見交換する。なお、必要に応じ、先進企業などを視察する。
活動経過	<p>■第1回フォーラム 平成27年7月24日</p> <ul style="list-style-type: none">・講師 銀座「クラブ稲葉」ママ 白坂 亜紀 氏・テーマ 「銀座のママに学ぶ 経営力・人間力」 <p>■視察 平成27年11月1日～3日</p> <ul style="list-style-type: none">・視察先 長崎県 三菱重工業㈱長崎造船所史料館、軍艦島ほか 世界文化遺産の見学など <p>■第3回フォーラム 平成28年2月9日</p> <ul style="list-style-type: none">・講師 シクロイズドスイミング北京オリンピック日本代表 石黒 由美子 氏・テーマ 「夢をあきらめない」

2) 同友フォーラム

委員長 碓井 洋

目 的	会員ニーズに対応するほか提言関係事業と連動して、社会に生起する諸課題について理解を深めるとともに意見交換する。
活動経過	■第1回フォーラム 平成28年2月23日 ・講 師 名古屋外国語大学現代国際学部教授 高瀬 淳一 氏 ・テーマ 「政治家の“言葉力”とリーダーシップ」

(3) 提言関係事業

1) 国政を考える委員会

委員長 辻 雅文
副委員長 小川 優二

意見書名	軽減税率制度を巡る議論について
活動方針	消費税率引き上げに伴う軽減税率制度導入の是非について検討する。
活動経過	<ul style="list-style-type: none"> ■第1回委員会 平成27年6月22日 <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ 「軽減税率制度の導入は必要か」 ■第2回委員会 平成27年7月31日 <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ 「軽減税率制度をめぐる現在の与党間協議の動向など」 [ゲスト/渡辺猛之参議院議員、大野泰正参議院議員] ■公明党との意見交換会 平成27年9月13日 <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ 「公明党の軽減税率制度に対する考え方」 ■第3回委員会 平成27年10月13日 <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ 「意見書の内容」 ■意見書記者発表 平成27年10月15日 <ul style="list-style-type: none"> ・出席者 筆頭代表幹事、正副委員長 ■麻生太郎副総理・財務大臣との面談 平成27年11月5日 <ul style="list-style-type: none"> ・出席者 筆頭代表幹事、正副委員長
意見書骨子	<p>1. 軽減税率制度の導入に反対する。主な理由は次の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 税はシンプル、公平であるべきである ② 適用品目と非適用品目の線引きが困難である ③ 事業者の事務負担が増える ④ 財政再建や社会保障の充実が喫緊の課題である ⑤ 標準税率を高く設定せざるを得なくなる ⑥ 低所得者には他の方法による対応が可能である <p>2. 低所得者への配慮は社会保障給付により行う。具体的には、「2つの給付金」(※)を柱に、今後消費税率が段階的に引き上げられた場合の恒久的な受け皿として、真に必要なところへ必要な分だけ給付する“低所得者総合対応制度”を構築して対処する。</p> <p>※「臨時福祉給付金」(「簡易な給付措置」)と「子育て世帯臨時特例給付金」 平成26年4月からの消費税率引き上げの影響等を緩和するため、所得の低い方々や子育て世帯に対して実施された給付金。</p>

2) 岐阜創生委員会

委員長 澤田 栄
副委員長 後藤 康弘

提言名	岐阜創生は“人づくり”から －あるべき岐阜の未来を見すえて
活動方針	地域には、自然災害への対応、エネルギーの確保から財政再建に至るまで様々な課題がある。地方創生の動きがある中で、どう課題に対応して活力ある岐阜県を創生していくかを提案する。
活動経過	<p>■第1回委員会 平成27年6月29日 ・テーマ 「提言のテーマについて」</p> <p>■第2回委員会 平成27年8月28日 ・テーマ 「提言の方向性について」</p> <p>■第3回委員会 平成27年11月27日 ・テーマ 「提言の骨子について」</p> <p>■提言記者発表 平成28年2月24日 ・出席者 筆頭代表幹事、委員長</p>
提言骨子	<p>岐阜創生にはその地域の魅力をつくり、伝えるための知恵が必要であり、“岐阜愛”を持った人づくりを充実させるべく、子供向け・大人向けにそれぞれ具体策を提案する。</p> <p>■提言Ⅰ「子供のための“岐阜愛”教育の充実を」 子供の“岐阜愛”醸成の一助として、県内の全小・中学校で「岐阜の偉人」を学ぶこと。そのための題材を公募し、岐阜独自の教材作成を提案する。</p> <p>■提言Ⅱ「大人が岐阜を学ぶための支援を」 大人が岐阜を学ぶ機会の一つとして、“転勤族”の方々が岐阜を学び、同時に岐阜の魅力を発信できる方策として「岐阜支店長会」を提案する。</p>

(4) 設立30周年記念事業

委員長 四ツ橋英兒
副委員長 中村 正
三浦 文彦

日 時	平成27年8月21日(金) 15:00～19:30
場 所	岐阜グランドホテル
概 要	<p>[記念講演会] (岐阜県商工会議所連合会、岐阜県経営者協会と共催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講 師 石破 茂 地方創生担当相 ・演 題 「地方創生は『独立自尊』の精神から」 ・要 旨 日本の再生は食料やエネルギーをつくり出せる地方がカギを握る。地方創生の目的は日本を自立した国家にすることである。地方創生は、地域の実情を最も知っている地方の民間(産業界、大学、金融機関、労働組合、マスコミ)が、行政と一緒に計画づくりと実行にどう貢献できるかがポイントとなる。 ・出席者 500名 <p>[記念式典及び記念パーティー]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祝 辞 野田聖子 衆議院議員 古田 肇 岐阜県知事 隅 修三 経済同友会 副代表幹事 ・乾 杯 新美篤志 中部経済同友会 代表幹事 ・出席者 260名 <p>※ 記念式典において、「IPPO IPPON NIPPON プロジェクト」(全国の経済同友会が、被災地が復興に向けて一步一步、歩いて行ってほしいという願いを込めて展開しているプロジェクト)に300万円を寄付(拠出)、当プロジェクト運営委員会の共同委員長である新美篤志中部経済同友会代表幹事に支援金の目録を贈呈した。加えて、永年会員(設立以来の会員)である36名の方を表彰した。</p> <p>※ 当日の様子を記録として残すため、記念誌を12月16日に発刊した。</p>

(5) 経済団体との交流事業

1) 第28回全国経済同友会セミナー

開催日	平成27年4月16日～17日
テーマ	「戦後70年。地域活性化で日本の再生を。」
内容	基調講演：「21世紀 日本の再生、世界への貢献と地方の役割」 講師：前文化庁長官、近藤文化・外交研究所代表 近藤 誠一 氏
会場	石川県立音楽堂（金沢市）ほか
本会からの参加者	7名

2) 第24回経済同友会中央日本地区会議

当会議は、わが国の中央地域に位置する8同友会の幹部が、交流を深めるとともに広域的テーマについて意見交換する会合。

開催日	平成27年11月20日
出席者	四ツ橋英児筆頭代表幹事 辻 雅文国政を考える委員会委員長 澤田 栄岐阜創生委員会委員長 小川優二国政を考える委員会副委員長
テーマ	「地域創生－人口問題等から地域経済を展望する」
参加同友会	岐阜県、中部、静岡、富山、金沢、福井、新潟、山梨
会場	フルーツパーク 富士屋ホテル

3) 岐阜県下財界新春懇親会

開催日	平成28年1月15日
共催	岐阜県商工会議所連合会 岐阜県経営者協会

3. 会議

1) 総 会

① 平成27年度定時総会

日 時	平成27年6月10日 午後3時30分
出席会員	331名（書面表決委任者199名を含む）
議 案	第1号議案 平成26年度事業報告書・財務諸表の件 第2号議案 理事の辞任に伴う後任者選任に関する件

② 平成27年度臨時総会

日 時	平成28年3月15日 午後3時40分
出席会員	296名（書面表決委任者181名を含む）
議 案	第1号議案 平成28年度事業計画・予算の件

2) 理事会

回	開 催 日	議 案 及 び 報 告
1	H. 27. 5. 15	平成26年度事業報告及び決算の件、理事候補者選任、常任幹事・幹事補充の件
2	H. 27. 11. 25	常任幹事・幹事補充の件、中間決算の件
3	H. 28. 1. 28	平成28年度事業計画、予算の件
4	H. 28. 3. 15	次期理事・監事候補者の件

3) 常任幹事会

回	開 催 日	議 案 及 び 報 告
1	H. 27. 12. 16	設立30周年記念事業、常任幹事・幹事補充、中間決算の件
2	H. 28. 2. 24	入会、平成28年度事業計画・予算案の件